

各位

特定非営利活動法人日本トイレ研究所

## 災害用トイレ研究フォーラムのご案内

時間経過を考慮した適切な災害用トイレの選び方を考える

平素は当研究所の活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

災害時のトイレ問題は、命と尊厳に関わります。また、衛生環境が確保できなければ、医療も食事も成り立たないのが実態です。

本フォーラムでは、災害時のトイレ対策として、**下水道対応から発生する廃棄物までの観点から課題を整理し、時間経過に応じてどのような災害用トイレを選んだらよいか**について情報提供・意見交換します。また、**女性や障害者に配慮したトイレ環境づくり**についても情報共有を図ることにしています。

ぜひお誘い合わせの上、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

### ■連絡先：

特定非営利活動法人日本トイレ研究所

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目5番1号IMCビル新橋9階

TEL: 03-6809-1308 FAX: 03-6809-1412 E-mail: web\_ml@toilet.or.jp

# 災害用トイレ研究フォーラム

～時間経過を考慮した適切な災害用トイレの選び方～

- 日時 2015年3月18日(水) 13:30～16:40 (受付開始は 13:15)
- 会場 「Forum S+西新橋」 東京都港区西新橋 2-8-11
- 主催 NPO法人日本トイレ研究所  
〒105-0004 東京都港区新橋 5丁目5番1号 I M Cビル新橋 9階  
TEL: 03-6809-1308 FAX: 03-6809-1412 E-mail: web\_ml@toilet.or.jp
- 参加費 無料 (資料代 1,000円 ※希望者のみ)
- 参加申込 参加申込書を E-mail または FAX でご送付ください。(定員 100名)

## ■プログラム

13:15 受付

13:30 開会と趣旨説明

13:40 **【国の施策】**

### **下水道BCPの策定状況とトイレ対応(仮)**

上神田健太 (国土交通省水管理・国土保全局下水道部)

大規模地震等により下水道が被災した場合には、トイレが使用停止、汚水の滞留、未処理下水の流出など、様々な被害が発生する恐れがあります。このような状況においても下水道が果たすべき機能を維持・回復することを目指すのが「下水道BCP」です。ここでは、下水道BCPにおけるトイレ対応の位置づけと自治体における下水道BCPの策定状況をお話いただきます。

### **災害時におけるし尿処理対応の基本的考え方**

水谷好洋 (環境省廃棄物対策課 浄化槽推進室 浄化槽企画官)

地方公共団体においては、災害発生時における浄化槽の被害状況やし尿の発生状況を正確かつ迅速に把握することが必要です。被災した浄化槽の汚水処理機能を復旧させると同時に、し尿の回収計画を立て、トイレ機能及び公衆衛生の確保を達成することが望まれます。ここでは、東日本大震災での経験を踏まえ、災害時における分散処理としての対応方法をお話いただきます。

14 : 20 **【自治体の取組み】**

**「避難所等におけるトイレ対策の手引き」作成の趣旨と今後の展開**

北本 淳（兵庫県企画県民部災害対策局災害対策課）

災害時における避難所等のトイレ対策は、避難者の健康管理はもとより、避難所の衛生対策を進める上でも重要な課題であるにもかかわらず、周知されていません。兵庫県は、阪神淡路大震災発生から20年を機に、避難所等における災害時の的確なトイレ対策の確立に資するよう、実践的な手引きをとりまとめました。県としての災害時トイレ対策の考え方や手引きの中身についてお話いただきます。

**女性や子ども、障害者が安心して使える「理想のトイレ」の提案と現場での適用**

野村 彩（浦安市都市環境部環境保全課）

東日本大震災で液状化した浦安市は、下水道の復旧に約一か月を要しました。その時に設置された災害用トイレは屋外設置のため、女性や子どもにとっては使いづらい環境でした。そこで、市役所の女性職員で構成する「災害時トイレ対策研究会」が立ち上がり、女性や子ども、障害者が安心して使える「理想のトイレ」の提案がなされました。ここでは、震災時のトイレ問題や課題、そして「理想のトイレ」提案についてお話いただきます。

15 : 00 休憩

15 : 15 **【パネルディスカッション】**

**災害用トイレの技術紹介と選び方**

**～時間経過を考慮して、適切な災害用トイレを選ぶ～**

コーディネーター 日本トイレ研究所

災害用トイレメーカー 複数社（技術紹介）

（携帯トイレ、簡易トイレ、組立トイレ、マンホールトイレなど）

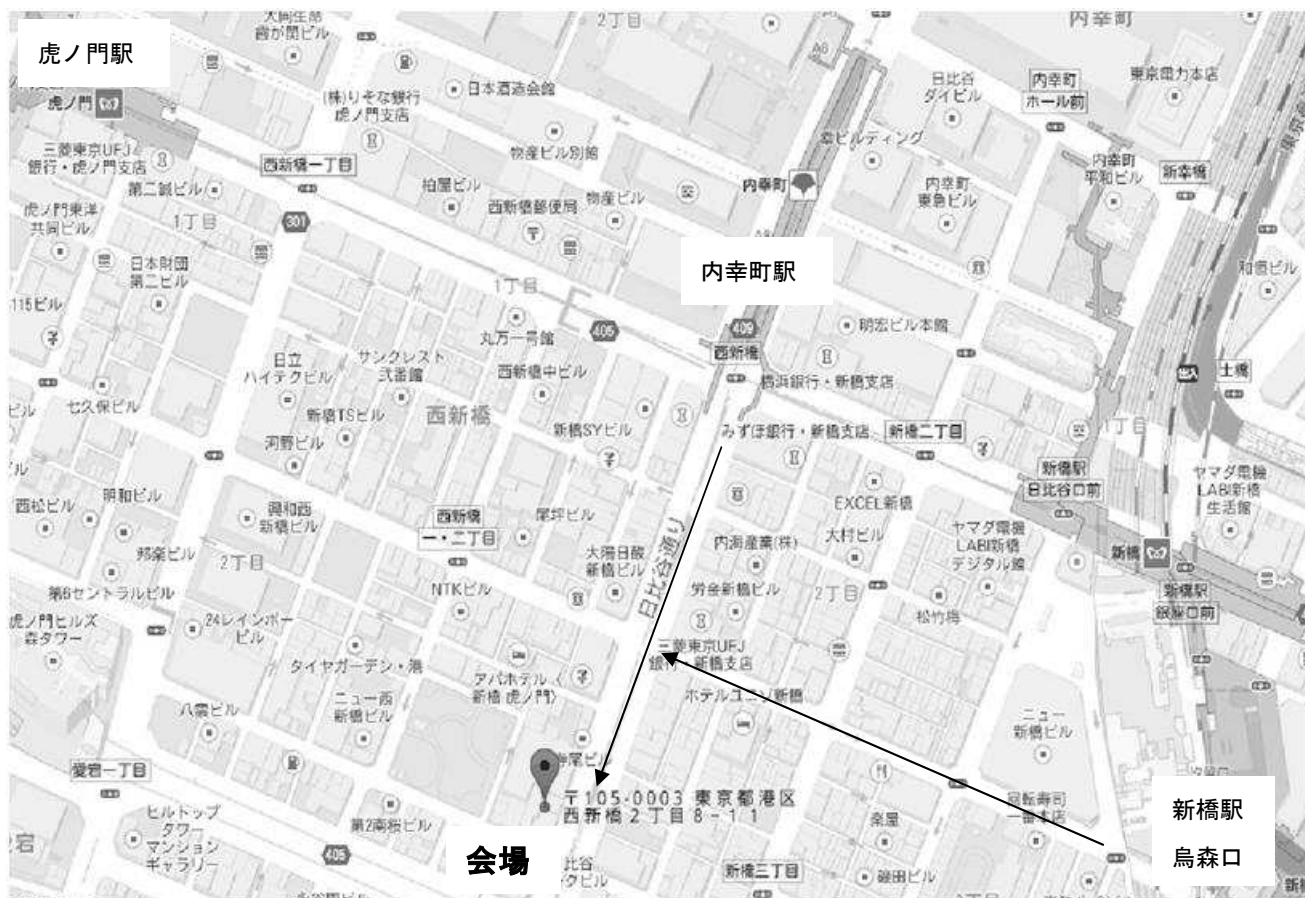
下水道や浄化槽の被災により水洗トイレ機能が停止した場合でも、私たちは排泄を我慢することができません。その際に必要となるのが「災害用トイレ」です。災害用トイレは、様々なタイプがあり、具体的な商品・技術も多様です。しかし、分類方法も確立しておらず、性能の表示についても統一されていません。ここでは、「どのような視点で災害用トイレを選ぶべきか」、また「どのくらいの量を備えるべきか」について、意見交換します。

16 : 40 閉会

17 : 00 交流会 ※交流会場については、ご参加者に追ってご連絡させていただきます。

※本プログラムの内容を一部変更する場合はご了承ください。

## 【会場へのアクセス】



Forum S+西新橋

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-8-11

三田線「内幸町」駅 (A1、A3 出口・日比谷通り) 徒歩 5分

J R「新橋」駅 (烏森口) 徒歩 7分